



# あすぎ 市議会だより

vol.  
**77**  
2024.1

## 12月定例会議特集

・特別委員会設置・委員決定

(原子力発電・エネルギー関係調査特別委員会)

・国民健康保険税減額

(安来市国民健康保険加入出産予定者)

・指定管理者決定

(安来節演芸館)

### 主な掲載内容

- ◆ 本会議での議決結果等…………… P 2
- ◆ 常任委員会報告(要旨)  
補正予算のポイント…………… P 3～P 4
- ◆ 一般質問要旨…………… P 5～P 11
- ◆ 委員会行政視察概要…………… P 12

編集・発行：安来市議会広報広聴委員会  
TEL:23-3125/FAX:23-3153

表紙写真 新春の能義平野 (撮影) 原瀬議員

## 第102回安来市議会定例会12月定例会議（令和5年12月1日～15日）

条例案6件、予算案15件、指定管理者の指定に関する議案4件、その他2件、契約案1件、特別委員会設置案1件、選任案1件の合計30件の審議を行い、すべて可決等いたしました。

### ■全会一致で可決した議案

総…総務企画委員会、文…文教福祉委員会、地…地域振興委員会、予…予算決算委員会

提出者	番号	件名	付託
市長	議第2号	安来市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について	/
	議第3号	安来市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	文
	議第4号	安来市立図書館条例の一部を改正する条例制定について	文
	議第5号	安来市空家等対策協議会条例の一部を改正する条例制定について	地
	議第6号	安来市公営住宅条例等の一部を改正する条例制定について	地
	議第7号	安来市火災予防条例の一部を改正する条例制定について	総
	議第8号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定及び変更について	総
	議第9号	指定管理者の指定の議決の一部変更について	文
	議第10号	指定管理者の指定について	総
	議第11号	指定管理者の指定について	総
	議第12号	指定管理者の指定について	総
	議第13号	松江市及び米子市並びに安来市が締結した定住自立圏形成協定の一部変更について	総
	議第14号	令和5年度安来市一般会計補正予算（第6号）	/
	議第15号	令和5年度安来市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	/
	議第16号	令和5年度安来市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	/

提出者	番号	件名	付託
市長	議第17号	令和5年度安来市電気事業特別会計補正予算（第2号）	/
	議第18号	令和5年度安来市生活排水処理事業特別会計補正予算（第2号）	/
	議第19号	令和5年度安来市水道事業会計補正予算（第2号）	/
	議第20号	令和5年度安来市下水道事業会計補正予算（第2号）	/
	議第21号	令和5年度安来市一般会計補正予算（第7号）	予
	議第22号	令和5年度安来市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	予
	議第23号	令和5年度安来市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	予
	議第24号	令和5年度安来市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	予
	議第25号	令和5年度安来市電気事業特別会計補正予算（第3号）	予
	議第26号	令和5年度安来市水道事業会計補正予算（第3号）	予
	議第27号	令和5年度安来市一般会計補正予算（第8号）	予
	議第28号	工事請負契約の締結について	/
	議第29号	令和5年度安来市一般会計補正予算（第9号）	予
	議員	議第30号	原子力発電・エネルギー関係調査特別委員会の設置について
選第5号		原子力発電・エネルギー関係調査特別委員会委員の選任について	/

## 第102回安来市議会定例会全員協議会（令和5年12月1日）

### ■全会一致で承認した案件

提出者	番号	件名
市長	/	安来市立小中学校適正配置基本計画の策定について

## 原子力発電・エネルギー関係調査特別委員会

令和5年9月定例会議の島根原子力発電対策調査特別委員会委員長報告において申し送りがあり、原子力発電所に係る調査研究は引き続き集中して調査を行う必要があること。また、風力や太陽光発電が全国的に普及している状況下において、エネルギー関連の調査を包括的に行う必要があることから、本特別委員会が設置され、委員が決定しました。

#### 《付議事件》

- （1）島根原子力発電所の安全対策等に関する諸調査
- （2）太陽光、風力、水力、地熱等を用いた発電の推進に関する諸調査
- （3）地球温暖化防止に向けた脱炭素・再生可能エネルギーの活用等、電力・エネルギーの安定供給と環境保全との調和に関する諸調査
- （4）発電事業に係る土地の利用調整その他環境保全に関する諸調査

委員長 葉田 茂美  
副委員長 内田 卓実  
委員 石倉 刻夷  
佐々木厚子  
澤田 秀夫  
三島 静夫

## 常任委員会報告(審)

### 詳しく審査

委員会で

12月定例会議では8日に文教福祉委員会、11日に地域振興委員会、12日に総務企画委員会、7日および15日に予算決算委員会を開催し、付託された案件の審査を行いました。主な審査の内容と結果を紹介します。

## 文教福祉委員会 (12月8日)

付託議案3件

### 安来市国民健康保険加入出産予定者の保険税を減額

安来市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について

#### 【概要】

世帯主からの届出に基づき、出産予定日が属する月の前月から、出産予定日が属する月の翌々月の計4ヶ月分の保険税を減額する改正を行うもの。

#### 【議会が注目したポイント】

12月1日から適用とのことだが、12月出産の場合は対象とならないのか。

12月出産の方は1月、2月が対象となる。11月1日以降に出産の方が対象となる。

議案に12分の1の額の減額とあるが、国が示した数値か。

12分の1は、12月で割ったうちの1月分という表現である。

## 地域振興委員会 (12月11日)

付託議案2件

安来市公営住宅条例等の一部を改正する条例制定について

#### 【概要】

公営賃貸住宅栄町ハイツ1号棟の市への無償譲渡、市営長谷津団地の廃止、市営住宅入居時における連帯保証人選定の廃止等、公営住宅の諸処の整理をするため改正を行うもの。

#### 【議会が注目したポイント】

敷金のうちから控除する額に駐車場使用料を追加した理由は、

退去時、未納の家賃だけでなく、駐車場使用料も同意を得て同様に対応していることから条例上整理した。

単独住宅について、新たに法人による使用を追加した理由は、

現在の公社住宅は従業員等の入居先として法人契約ができるようになっており踏襲するため。

## 総務企画委員会 (12月12日)

付託議案6件

辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定及び変更について

#### 【概要】

スクールバス更新及び旧簡易水道施設整備を進めるため、当該事業を

実施する辺地の総合整備計画を策定、変更するもの。

#### 【議会が注目したポイント】

西谷辺地の総合整備計画について、スクールバス及び配水施設の更新に特定財源を充てるとあるが、どの特定財源を活用するのか。

スクールバスの更新は、国の補助金である「へき地児童生徒援助費等補助金」を、配水施設の更新は、県の交付金である「生活基盤施設耐久化等交付金」を活用する。

新たに購入するスクールバスの仕様と、現在使用しているスクールバスの取り扱いはどうなるのか。

新たに購入するスクールバスは、23人乗り、補助席を含めて29人乗りである。すでに発注を済ませており、令和6年1月末納車予定である。現在使用しているスクールバスは、購入から20年を経過しているため、基本的に廃車になると考える。

総合整備計画の終期がすべて令和5年度となっている。メニュー的にかんがりの事業量になると考えるが、来年3月末までにすべて完了するの

か。今回の計画は今年度中に終了する。道路改良については引き続き行うため、新年度に新たに計画を策定し、議会に提案する。

## 安来節演芸館の

### 指定管理者決定

指定管理者の指定について

#### 【概要】

安来市公の施設指定管理者選定審議会の選定結果を受け、指定管理者(米子市夜見町1895番地3 有会社アクティブ・プロ)の指定について、議決を求めるもの。

#### 【議会が注目したポイント】

物価高騰や安来節公演の担い手の高齢化から新しい企画がないと、経営が難しいと考える。今回の申請者からは、新しい企画の提案はあったのか。

2社ともに提案があった。著作権に関する部分もあるため詳細は述べられないが、安来節公演を担う安来節保存会と調整しながら、進めていく必要があると考える。

指定管理者は、今まで1年間休業していた間に、以前働いておられた方、今まで働いておられた方の雇用について、どのように考えているのか。また、雇用を増やす考えはあるのか。

詳細はこれからだ、前提として今、会計年度任用職員として勤務している3名の方については、雇用していただくことになっている。以前に勤務していた方や雇用を増やすかは、これから協議することになると考える。

## 予算決算委員会 (12月7日、15日)

付託議案8件

### 12月定例会議 補正予算

12月定例会議で可決した一般会計補正予算第7号、第8号および電気事業特別会計補正予算第3号で市議会が注目したポイントをまとめました。



### ▼養護老人ホーム 指定管理委託事業

補正額170万円

#### 【概要】

原油価格・物価高騰の影響により指定管理施設である安来市養護老人ホーム鴨来荘の維持管理費に不足が見込まれるため委託料を増額するもの。

#### 【議会の注目ポイント】

**問** 「安来市養護老人ホーム鴨来荘の指定管理料」では、令和6年度から5年間で750万円、1年間で150万円となるが、物価高騰が続く中、不足

を生じるおそれがあり、実際今回も補正が計上されている。積算はどのようにされているのか。

**答** 鴨来荘とのこれまでの話し合いにおいて、措置費の一般事務費に対する2%としている。

### ▼スマートインター チェンジ調査事業

補正額4千万円

#### 【概要】

安来スマートインターチェンジ(仮称)は、安来市が進める切川バイパス周辺の新たな市街地としてのまちづくりや周遊観光の推進、企業誘致、周辺施設等からの高速道路アクセス向上等、地域振興や産業振興、物流の効率化が期待されるものであり、令和5年9月に国として必要性が確認できる新規準備段階調査箇所を選定され、今後の事業化に向けて準備・検討を進めるために調査経費を予算計上するもの。あわせて繰越明許費の限度額を設定するもの。

#### 【議会の注目ポイント】

**問** スマートインターチェンジ周辺の地籍調査は完了しているのか、また農業振興地域の手続き等にかかる経費も事業費に含まれるのか。  
**答** この周辺の地籍調査は入っていない。また、農業振興地域の手続きに要する経費は含まれていない。

### ▼布部発電所改修事業

債務負担行為限度額2億円

#### 【概要】

昭和29年から稼働している布部発電所を、再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT)適用となるよう、設備の更新、改修を行っているが、物価高騰及び工法見直しによる事業費の増加、河川の出水期等の調整による工期延長が見込まれるため債務負担行為を追加し対応するもの。

#### 【議会の注目ポイント】

**問** 物価高騰、工法見直し及び工期延長などにより債務負担行為の限度額を2億円追加ということだが、内訳の説明を伺う。  
**答** 導水路等の改修工事に使用するが、発電所建屋及び水圧鉄管更新についても、今後、変更が生じた場合、その増額部分に充てていくことも考えられる。

### ▼学校給食応援事業

補正額700万円

#### 【概要】

トマトやダイコン、ニンジン、ネギなどの給食食材に欠かせない野菜の価格が全国的に高騰している。8月中旬から9月中旬の猛暑により実

が付かないなどの影響による不作が背景にある。

さらに、長引くウクライナ情勢等の影響から燃油を始め様々な物価が高騰している現状もあり、しばらくはこの状況が継続すると見込まれる。地産地消率の向上に向けて、可能な限り市内産を積極的に使用するよう努めながら、学校給食の質、量、栄養価を維持するために、不足する食材費を補正予算において増額し、保護者の経済的負担軽減を図るもの。

#### 【議会の注目ポイント】

**問** 給食食材の価格は、来年度以降も高騰が続くと思われる。保護者負担の軽減として、財源である今回の交付金がなくても、今後この事業を行う考えはあるか。  
**答** 今後の社会情勢等を考慮し、他市の状況等も注視をしながら慎重に判断することになるが、令和4年度に給食費を値上げしていることもあり、今後も保護者負担の軽減を図りたいと考えている。

#### 債務負担行為とは？

債務負担行為とは、複数年に渡る契約や後年度の支出が確実なものを、期間・内容・限度額などを決めておいて、複数年かけてお金を払っていくことです。議会の議決が必要です。



政進クラブ  
三原 哲郎

除雪について

**質問** 3月定例会議では「地区や農業法人などに声をかけ、除雪できる方々を募集したらどうか」と提案した。それも含めこの冬の除雪の対策を伺う。

**答弁** 公道を除雪する場合、除雪車としての登録等も必要で、物損事故等の懸念もあることから、現時点で個人等との契約を行う事は難しいと考えている。

積雪30cmを超える場合等においては、委託業者だけでは対応が難航する局面もあり、現状や手法等を整理して、検討は行っており、除雪計画する中で検討を進めて行きたいと考えている。

**質問** 除雪の優先順位が確認できる除雪マップをホームページで公表し、各町内単位に配布しても良いかと考えるが見解を伺う。

**答弁** 他自治体の状況も確認したうえで、除雪マップは、公表に向けた検討も行っている状況である。また、自治体DXによる様々な取り組みの中で「除雪マップの見える化」についても、検討に加えて行きたいと考えている。

スマートシティやすぎ生成AIについて

**質問** チャットGPTなどの生成AIの取扱いについてどのようなように考えているか伺う。

**答弁** 実証試験を行い、業務の効率化と質の向上に有益であり、情報収集や要約・文章作成などの業務に利用できる環境を構築すべきとの市の方針を決定した。

業務利用に際しては、個人情報や機密情報等の情報漏洩に配慮した安全なシステムを導入することとした。

**質問** 文部科学省が生成AIの学校での活用に関するガイドラインを全国の教育委員会などに通知した。このガイドラインの内容と学校教育の中で生成AIを利用することに対しての方向性を伺う。

**答弁** 生成AIの仕組みを理解することや、学びに活かす力などを育成することは重要であるとの考えが示される一方で、生成AIは発展途上にあり、児童生徒の発達の段階を十分に考慮する必要があるとされている。

自ら考え表現する力の育成を目指し、AIにより得た情報を鵜呑みにするのではなく、自分で情報の真偽を確認し、活用できる力を育むことが重要であると考えている。

その他の質問事項

- 教育、人権について
- 市民課窓口について



政進クラブ  
飯橋 由久

高齢者の

補聴器購入費支援について

**質問** 補聴器購入費支援は現行ではどういふものがあるか伺う。

**答弁** 障害者総合支援法に基づく補装具として、身体障害者手帳の交付対象となっている方に対して、購入費の支援を行っている。

また、島根県の補助事業を活用した難聴児補聴器購入助成事業においては、身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度の難聴があり、かつ18歳未満である方が対象となる。世帯の所得によっては対象外となる場合もある。

**質問** 65歳以上の方への現行の支援事業はあるのか伺う。

**答弁** 65歳以上の方への購入支援については、障害者総合支援法に基づく補装具の購入支援のみで、身体障害者手帳の交付対象となっていない高齢者に対しては行っていない。

**質問** 加齢性難聴が続くと、認知症リスクが高まると、様々なところで医学的に報告されている。また、加齢性難聴に悩む高齢者に対しての補聴器購入費支援を単独で行っている自治体も増えている。認知症予防対策のひとつとして、今後、購入支援実施に向けた検討をされる考えがあるのかどうか伺う。

**答弁** 国の「認知症施策推進総合戦略」において「難聴」は認知症の危険因子のひとつとして挙げられており、また、WHOガイドラインにある認知機能低下および認知症のリスク低減に向けた推奨項目にも「難聴の管理」として挙げられていることから、補聴器を使用することによって認知症の予防につながる可能性はあるものと考えている。

さらに、補聴器により高齢者の聞こえが維持されることで、社会参加への意欲の増進などにもつながっていくのではないかと考える。

高齢者への補聴器購入支援を実施する自治体が年々増えていることは承知しており、今後の状況を注視していくとともに、様々なご意見を参考にしながらか検討していきたいと考えている。

一般廃棄物処理について



市民クラブ  
澤田 秀夫

**質問** ペットボトルの処理見込み量を増加した理由を伺う。

**答弁** 定期収集におけるペットボトルの排出量は年々増加しており、前年度の実績に応じて計画を作成している。

**質問** ペットボトルの収集量が増えている現状、またアパートや賃貸住宅にお住いの方が増加傾向にある中、月1回の収集日では不足であり、いつでも出すことのできる回収場所が必要ではないかと考える。試験的に安来庁舎の駐車場の一角にペットボトル回収ボックスを設置する考えについて所見を伺う。

**答弁** 市の施設等への日常的に排出できる設備を設置することについては、設置場所の管理や収集回数が増加などにより、収集経費が増加することが考えられるため、現在のところ設置は考えてない。月1回の定期収集以外には、民間店舗等が行っ

ている店頭回収のご利用をご検討いただき、ペットボトルのリサイクル推進にご協力をお願いする。

**質問** 自治会の清掃活動によって排出される「ごみや汚泥」は、市に申請すれば回収していただけるが、草は回収していただけない。

私案であるが、各自治会が清掃活動で草刈り等をする場合、市がフレコンバックを配布し、その中に刈った草を入れていただき、あとで市が回収するという方法はどうか。

自治会の清掃活動によって出される「草の回収」についての所見を伺う。

**答弁** 現在は、清掃活動により排出されるごみで収集対象としているのは、ポイ捨てごみや水路汚泥であり、草は収集の対象としていない。しかし、近年自治会等から草の収集についての相談・要望が増加している。

議員提案のフレコンバックでの回収は、運搬車両への積み込み等の課題があり、実施は困難であるが、今後、清掃活動により排出される草も収集対象に含める方向で検討していきたい。

その他の質問事項

● 除雪体制について

令和6年度

予算編成方針について



誠和クラブ  
石倉 刻夷

**質問** 重点施策も検討される中、来年度の予算編成方針を伺う。

**答弁** 「第2次総合計画」と「まち、ひと、しごと創生総合戦略」を基本に、人口減少対策と市の創生を目的として、中期財政計画を踏まえ、市有財産の有効活用や、ふるさと納税、クラウドファンディングの実施など、歳入確保や、市のDX推進計画に基づき、デジタル技術の導入等を検討し、新たな取り組みを考えている。

公共施設等総合管理計画の推進の中で、特定施設は示していないが、具体的な方向性が決まった施設から予算計上したい。雨漏りの修繕が必要な施設は、状況を踏まえ、早急に対応できるように予算編成過程において検討する考えである。

防災士の育成について

**質問** 自主防災組織の設置状況と防災士育成について伺う。

**答弁** 自主防災組織は、安来地域59%、広瀬・伯太は100%の設置状況である。防災士は現在54名で、令和元年度から資格取得経費の補助をして、これまで13名が利用されている。防災訓練や、小中学校での防災教育など協力をいただいている。

その他の質問事項

- 有害鳥獣駆除対策について
- 農業振興にかかわる「地域計画」策定状況について
- 原子力防災訓練の目的と今後の計画について
- 安来節演芸館の運営について

防災士とは？

社会の様々な場で減災と社会の防災力向上のための活動が期待され、かつ、そのために十分な意識・知識・技能を有するものとして、NPO法人日本防災士機構が認定した人のことです。



誠和クラブ  
清水 保生

### 中山間地域における 買い物支援について

**質問** これまで地域の買い物物の拠り所であったスーパーマーケットや個人商店などが経営不振や後継者不足などで次々と撤退や廃業され、日常生活に欠かせない食料品などの買い物に事欠く地域が増えてきている現状において、本市における買い物支援の必要性について伺う。

**答弁** 本市においても、地域が協力して様々な取り組みがなされており、買い物支援もその一つとして実施されていることから、必要性は高いと考える。

**質問** 自家用車などの移動手段が無い高齢者世帯等を対象とした市内での買い物支援の実情について伺う。

**答弁** 移動販売車では、広瀬町比田地区をエリアとする「えーひだカバンバー」、能義・広瀬・伯太地区をエリアとする「アイパルテいしだ

号」がある。その他に買い物代行サービスとして、安来市シルバー人材センターの「ちよこつとお手伝い事業」や伯太町赤屋地区をエリアとする「あかやてごする会」などがある。

**質問** 中山間地域における移動販売車による買い物支援は、不採算で運営自体は非常に厳しい。鳥取県日野町のように、移動販売車による買い物支援を高齢者の見守り等福祉事業とセットにし、財政支援をしていく考え方も必要ではないかと考えるが、所見を伺う。

**答弁** 国が令和4年度に先進的モデル事業として、買い物支援を通じて見守り活動の実証事業を実施していることから、取り組みの必要性はあると考える。先進的に行っている自治体の事業を調査・研究したうえで検討したい。

**質問** 買い物支援は、国や自治体が財政面も含め、主導的な立場で進めていく必要があると思うが、所見を伺う。

**答弁** 財政的な面を含め、市だけでは十分な対応は困難。国にも主導的な役割を求めながら、行政、民間事業者、地域と連携して取り組むことが重要である。



公明党  
佐々木 厚子

### 総合経済対策の 「重点支援地方交付金」について

**質問** 政府は、物価高騰に苦しむ生活者や事業者を支えるため、新たな総合経済対策である2023年度補正予算を可決した。その中に、「重点支援地方交付金」の「低所得世帯支援枠」と「推奨事業メニュー」が盛り込まれた。国は、1世帯あたり7万円支給するという「低所得世帯支援」については、速やかに予算化するようにとのことだが、安来市として、令和5年内支給はできるのか伺う。

**答弁** 基準日の対象世帯の洗い出しやシステム改修に時間を要するため、年明けの早い時期に支給したいと考えている。

**質問** 推奨事業メニューについて、どのように進めていくのか伺う。

**答弁** 国からは年内に予算化するように通知があった。物価高騰は市

民の生活や事業者の経営に大きな影響を与えるため、なるべく早く検討し、事業化できるものから予算化を進めていく。

### 認知症共生社会の実現について

**質問** 若年性アルツハイマー型認知症の方たちは高齢者の方より仕事のこと、家族のことなど抱えている問題はより深刻である。安来市として若年性の認知症に対する支援はどのようなものがあるのか伺う。

**答弁** 鳥根県では、「しまね若年性認知症相談支援センター」で各種の相談に応じている。安来市では「地域包括支援センターはくた」が相談窓口になっている。職業相談や職業紹介、就労後の職場環境や生活に関するサポートを行っている。

**質問** 今後、安来市としてどのような認知症対策をされるのか伺う。

**答弁** 認知症の正しい知識を早くから伝えることが重要と考えることから、市内の短大の学生に養成講座を予定している。また今年、社会参加の取り組みとして「認知症当事者の女子会」を対象とした「買い物ツアー」を実施して喜んでいただいた。今後も、当事者の思いや声が反映された施策に取り組んでいく。



政進クラブ  
湯浅 正志

農業の持続と振興について

**質問** 農地を次の世代に着実に引き継いでいくため「人・農地プラン」から「地域計画」へ変更されるが違いについて伺う。

**答弁** 令和4年5月に改正された農業経営基盤強化促進法により、人・農地プランから地域計画に名称が変わり、令和7年3月末までに各地区に策定が定められた。また、それぞれの違いとしては、中心経営体に農地を集積していく将来方針を文章化する人・農地プランに対し、農業を担う全ての人ごとに利用する農地を「目標地図」として示すのが地域計画である。

**質問** この地域計画を作成することによるメリットについて伺う。

**答弁** 地域計画の策定によって、概ね10年後の地域内の農地について「誰が耕作するのか」見通しをつけることができることや、地域農業の

課題が明確化される。また、どの作物をどのような方法で栽培していくかなど、将来の地域農業の在り方を明らかにすることにより、効率的な営農に向けた取り組みの促進が期待される。

円滑な土地の利用と管理について

**質問** 今後、建物所有者の高齢化・遠方地域在住と相続登記義務化の認知度不足による所有者不明土地と空き家の増加を懸念するが、現状について伺う。

**答弁** 「所有者不明土地」とは相続登記がされないこと等により「不動産登記簿の所有者が直ちに判明しない土地」などであり、市内の空き家すべての土地所有者を把握していないことから「所有者不明土地」に該当する空き家の実態は把握していない。指導等が必要な空き家に対して、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、所有者調査を行うが、相続登記がされていないことにより不動産登記簿により所有者が直ちに判明しない場合は、相続関係人の調査等を行っているが、調査には時間を要している状況である。



市民クラブ  
原瀬 清正

公共施設マネジメントについて

**質問** 「施設総量の適正化」に向けた数値目標として、平成28年度に一般会計が保有する延べ床面積に対して施設総量を25%削減と設定され、令和4年度の実績では4%の削減となっている。令和5年度末での見込みを伺う。

**答弁** 今年度解体が完了した長谷津団地の一部と、年度内に解体予定の西比田にある旧トスカ工場棟跡の削減面積を反映すると、削減目標の25%に対し5.1%になると見込んでいます。

**質問** 既存の公共施設の、延べ床面積の縮減を図る取り組みとして、売却や転用などの検討は庁内でどのように進められているのか伺う。

**答弁** 基本方針にある「施設総量の適正化」については、維持管理コストの縮減に向けた視点から、施設規模の適正化、施設の統合・廃止な

どの検討を進めることとしており、行政サービスの提供に必要な施設かどうかを念頭に置き、施設所管課や利用者も含め地域の意見も踏まえ、令和3年度に庁内に設置した公共施設活用推進会議を中心に議論を進め、施設ごとのあり方など今後の方向性の検討を進めている。

**質問** 休止状態の施設で活用を検討が何年も続いている事例を見受けるが、具体的な見通しがないままに、維持管理経費を公費で負担し続けるのは問題であると思う。また、方向性によっては地域住民の課題解決に繋げることも可能ではないかと考える。そうしたことから、速やかに検討を進めることが重要だと考えるが見解を伺う。

**答弁** 休止後の空白期間が生じないよう、施設が使える状態にある間に検討を進めることが重要であるが、休止施設の維持管理費についてはほとんどかかっていない。方向性によっては地域の課題解決に繋げることも可能と考えている。地域のニーズや周辺施設の状態、人口の動向も考慮した上で公共施設活用推進会議にて情報共有を図りながら議論によって方向性を示すことが重要と考えている。

救命救急について



政進クラブ  
内田 卓実

**質問** AEDの設置状況を伺う。

**答弁** 設置について消防本部への届出等が不要であることから、全設置数については把握できておりません。消防本部が119番入電したときにAEDが設置してあることを聴取した場合や、救急現場や救急講習など出向先でAEDの設置について確認するなどした独自調査によると、本市のAED設置施設及び台数は、学校、公共施設、介護・福祉施設、病院、会社など142施設に174台設置してあることを確認している。

**質問** AEDの設置条件について伺う。

**答弁** 令和元年5月17日に厚生労働省から通知されたAEDの適正配置に関するガイドラインによると、人口密度が高い、心臓病を持つ高齢者が多い、運動やストレスなどに伴い一時的に心臓発作の危険が高いな

ど心停止の発生頻度に直接関わる要因だけではなく、目撃されやすいこと、救助を得られやすい環境であることも考慮する必要があると示されており、このガイドラインに基づいて設置するよう通知されている。

**質問** 公共施設におけるAED購入時の費用、購入方法を伺う。

**答弁** 公共施設にAEDを設置する場合におきましては、設置を行う施設の所管課が予算計上を行っている。

**質問** 公共施設に設置してあるAEDの維持管理、メンテナンスの状況について伺う。

**答弁** リースの場合は購入した販売店が行っている。買取りまたはリース期間終了後、耐用年数が残っている機器の場合は、販売店にメンテナンス方法等の教示を受けながら、所管課で消耗品等の交換を行っている。

**質問** AEDの講習・訓練の状況を伺う。

**答弁** 救急講習は、保育施設、学校関係、病院、福祉施設、自治会、自主防災組織、企業の方々などを対象として令和4年中に44回実施し、延べ848人の方が受講され、また今年は11月末現在で85回実施し、延べ1,543人の方が受講されている。

住みたいまち安来について



誠和クラブ  
三島 静夫

**質問** 子どものサードプレイスに關して、どの様に取り組みられておられるのか見解を伺う。

**答弁** 子ども達のサードプレイスとは、子ども達にとって、家庭と学校以外にリラックスして自分らしく過ごせる居場所のことであると考えられている。

居場所での過ごし方を子ども自身が決めたり、また、学びたい子どもには個別の学習支援を行ったりなどのフリースペースを提供している自治体もある。

本市には、このような子ども達も気軽に立ち寄れるようなフリースペースはないが、学習の場として、市立図書館、一風亭及び交流センターなどがある。

また、学校以外で地域の子ども達もふれあう場として、スポーツや音楽などの教室、スポーツ少年団、子ども食堂、放課後児童クラブ及び交

流センターでの活動などもサードプレイスのひとつとなっている。今後、まちづくりや子育て支援の観点から、ニーズの把握を含め、検討する。

地域活性化について

**質問** 市外在住の市職員と地域との交流の取り組みについての見解を伺う。

**答弁** 各地域では、地域の伝統行事、健康づくりをテーマにした事業、地域の自然を活かした体験的な活動など、子どもから高齢者まで、あらゆる年代の市民を対象とした様々な事業が年間を通じて実施されている。職員が地域住民の一人として事業に關わることで、市民の声を直接聞き、地域の現状を知ることができる。安来市外に在住の職員についても、このような地域での事業に多様な形で關わり、地域住民と交流を重ねることにより、地域課題への気づきや地域に寄り添った支援に結びつくものと考ええる。

こうした事業の実施について、現在は市職員向けの周知は行っていないが、今後は、庁内の掲示板などを利用し、情報発信していくことで、職員が身近な地域の事業へ参加するきっかけにしたいと考えている。



政進クラブ  
福井 加代子

健康なまちづくりについて

**質問** 世界的にがんの若年発症が急増している中、若い方のがん検診の受診率向上の取り組みを伺う。

**答弁** 休日夜間も可能なWEB予約を導入したり、より早い時期からの取組として、子宮がん検診について市内高校生を対象に健康講座を行っている。また、安来市健康推進会議の成人・産業保健部会では働き盛り世代への取り組みとして、機関紙や展示ブースの設置により、がん検診の啓発や食事、運動など健康的な生活習慣に関する啓発も行った。

**質問** 2025年に高齢者5人にひとり認知症になると推測される中、市内の介護施設等の利用状況、特に特別養護老人ホームなどの現状を伺う。

**答弁** リハビリを中心とした介護老人保健施設の平均稼働率は8割、長期療養者の住まいである介護医療院は平均稼働率8〜9割、要介護者

の住まいである特別養護老人ホームは、ほぼ満床。特養以外の施設が充実し、高齢者の選択肢が増え、待機者の居住も自宅から施設、病院と大きく変化している。

安来の芸術文化について

**質問** 和鋼博物館開館30周年記念事業として秋季企画展「ダンサン」が守り育てた安来の芸術文化」が開催されたが、この展示への思いを伺う。

**答弁** 昨年、個人の方から安来の繁栄を伝えるために役立ててほしいと、河井寛次郎、米原雲海や横山大観など、安来にゆかりのある作品154点をご寄贈いただいた。これらは、鉄の積出し港安来で商家を営み、文面など多方面にわたり手腕を發揮した旦那衆「ダンサン」が、才能ある芸術家を支援したことを伝える貴重な資料である。たたら製鉄による港町のにぎわいが文化の発展をもたらしたことを物語る資料として、早くお披露目したいとの思いで主な作品を展示し、大好評であった。展示改修の計画を策定しており、「ハガネのまち安来」を伝える新たな常設展とし、和鋼博物館の魅力向上につなげていく。



政進クラブ  
岩崎 勉

安来市立病院と広瀬地域のまちづくりについて

**質問** 令和5年度も第3四半期が終わろうとしている。市立病院の現段階での経営状況について伺う。

**答弁** 4月から9月までの上半期を見ると、前年同期と比較して入院・外来共に患者数が減少しているほか、新型コロナウイルス感染症による診療報酬の特例の終了などにより、診療単価の減少が生じてきている。さらに、光熱水費や診療材料、給食材料などの諸物価高騰は依然として続いており、病院経営に大きく影響をもたらしている。

令和5年度上半期の経営状況は、目標とする収支をやや下回っており、当面は厳しい状況が続くものと考えられているが、引き続き医療の質を確保しながら経営の健全化に取り組む。

**質問** 令和5年度の経営健全化に向けた取り組み状況について伺う。

**答弁** 在宅医療への対応では、その推進を強化するため4月に在宅支援係を設置し専任のスタッフを配置した。また、総合内科医が2人体制となり、在宅支援係を中心に、訪問診療・訪問看護・訪問リハビリの充実を図っており、徐々に利用件数が増加してきている。

また、松江市、米子市の高度急性期病院等からの患者の受け入れ先としての機能や、在宅等からの急変患者の受け入れ体制を強化し、入院患者の増加に繋がるように取り組んでいる。

**質問** 広瀬地域のまちづくりについて伺う。ここで言う広瀬地域とは、「町屋」つまり市立病院や広瀬庁舎、広瀬中央交流センター等がある町部の事を指しているが、そのまちづくりについて市長の見解を伺う。

**答弁** 現在、広瀬地域では複合施設整備を計画しており、この中においても広瀬地域の方を中心に市民の方の声を聴きながら進めてきている。今後、交流センター、図書館として多世代が交流できる地域の中心施設としてしっかり機能するよう、今後皆様様の意見を伺いながら計画を進めていく。



誠和クラブ  
作野 幸憲

**高齢者のスマホ利用促進を!!**

**質問** 高齢者のスマホ保有率を伺う。

**答弁** 安来市DX推進計画を作成するために行った市民アンケートの結果によると、令和4年9月時点で60代のスマホ保有率が89.4%、70代で72.4%、80歳以上で35.9%でした。

**質問** 市のLINE公式アカウント登録者数を伺う。

**答弁** 本年11月末時点で753人であり、その46.5%の約350人が50歳以上の登録者となっている。

**質問** 登録者数を増やせば、スマホから高齢者へも直接情報を届けることができるが、登録者数を増やす方法を何か考えているか伺う。

**答弁** 今後は、情報発信の充実を図るとともに、市の広報紙や各種公式SNSでの周知を引き続き行うほか、介護予防の学びの場など高齢者の集まる場所でPRを行うなど、様々な方法で登録者を増やすための取組を進める。

な方法で登録者を増やすための取組を進める。

**質問** 「特定地域づくり事業協同組合制度」の今後の課題を伺う。

**答弁** 派遣先の組合員事業所のほとんどが農業関係であることが課題だと認識しておられ、多様な人材の確保の観点からも派遣先の業種の裾野を広げていく必要があると考えておられるようである。

また、組合が今後も持続的に業務を遂行できるよう、一定の収益を確保した上で事業運営を行い、財政的な基礎を確立する必要があるとの認識である。

**質問** 鳥獣被害防止対策として、国の情報通信環境整備計画策定事業を使って、まずは罌の監視装置導入から始められてはどうかと考えるが、見解を伺う。

**答弁** 今年度内に県の情報通信環境整備計画が策定予定となっており、市としても県の計画に基づき、情報通信環境の整備を進めていく。

農村地域における情報通信環境の整備が進むことで、これまで発信機と受信機の距離が制限されていた罌センサーも、距離に関係なく捕獲情報を手元の携帯やスマートフォンで確認できるようになるなど鳥獣対策従事者の省力化につながると考える。



日本共産党  
向田 聡

**十神山の環境整備について**

**質問** 十神山は、遊歩道で山頂まで登れるようになっており、市街地からも近く、バードウォッチングやキャンプも楽しめるなぎさ公園とともに、憩いの場として親しまれている。しかし、近頃、「十神山の整備ができていないか？」という声をよく聞く。現在、管理や整備はどうなっているか伺う。

**答弁** なぎさ公園や進入路、護岸周辺の遊歩道については道路パトロールに合わせ定期的に維持管理を行っているが、山林内を通っている遊歩道等の維持管理については、利用者からの通報や要望を受け、草刈りや倒木処理等、現地を確認した上で、修繕や応急的な対応など行っているところである。地元のボランティアの方にも協力いただいているところもあり感謝している。危険な状況などがあれば、土木建設課へ一報をお

願いたい。また、十神山は保安林指定を受けており、樹木伐採や形質変更には県知事の許可が必要であり、眺望改善にも規制がかかっている状態である。

**質問** 十神山が風致地区に指定されていることによる国県の補助金・助成制度は現在はないということだが、市街地にも近く、安来のまち探訪・サイクリングのコースで立ち寄る場所・尼子十砦など観光スポットとしての活用や市民が親しめる憩いの場としての活用など、もっとも有効利用できる場所として、積極的に整備を進めるべきではないかと考えるが、市長の見解を伺う。

**答弁** 十神山は島根県でただひとつ風致地区に指定されており、風致保安林にもなっている。なかなか難しい条件がたくさんあるが、安来市にとっては非常に大切な山でもあるし、観光地としても魅力があるので、何とかして整備ができないか、これからいろいろ検討しながらひとつずつ進めていきたいと考えている。

**その他の質問事項**

- 不登校支援について
- 物価高騰対策について

12月定例会議

常任委員会現地視察報告書

◆文教福祉委員会

令和5年12月8日文教福祉委員会で、安来市立病院の視察を行いました。また、市民課にて、誰ひとり取り残さない窓口構築事業の説明を受けました。



安来市立病院



市民課

◆地域振興委員会

令和5年12月11日地域振興委員会で、原代浄水場、安来港飯島線道路改良事業の仮設橋等、市内の各所を視察しました。



原代浄水場



安来港飯島線道路改良事業の仮設橋

◆総務企画委員会

令和5年12月12日総務企画委員会で、マルチタスク車両の視察を行いました。



マルチタスク車両外観



マルチタスク車両内部

スマホアプリ「マチイロ」にやすぎ市議会だより配信中心!



YouTubeで市議会配信



広報広聴委員会新メンバー



編集後記

元日に発生した能登半島地震でお亡くなりになった方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。

この度新たな6名で、より開かれた議会を目指し「議会だより」と「やすぎ未来トーク」を中心に、議会の様子をお伝えして参ります。

どじょっこテレビやYouTube配信も行っていますが、お気軽に本会議場で傍聴していただけると喜びます。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

広報広聴委員会  
委員長 岩崎 勉